

海外事務所 主な活動報告（令和 8 年 6 月）

《ワシントン州事務所》

今夏に、在シアトル日本国総領事館の管轄地域（ワシントン州、モンタナ州、アイダホ州北部）から派遣される新規JETプログラム（語学指導等を行う外国青年招致事業）参加者を対象に、JETAA（JET経験者の会）太平洋岸北西部支部がオリエンテーションを開催したところ、当事務所より、日本の学校や業務の留意点などを紹介するとともに、兵庫県のPRを実施した。

他府県へ派遣される参加者からは、着任後、兵庫県来訪を希望する声があがったほか、本県への赴任予定者はそれぞれの学校での勤務を楽しみにする様子が見られた。

JETプログラム参加者は、日米交流、ひいては本県とアメリカとの交流にとって大変貴重な存在であるところ、引き続き支援を行ってまいりたい。

＜JETAA太平洋岸北西部支部オリエンテーション＞

- 日 程 2026（R8）年6月20日（土）
- 場 所 ワシントン州日本文化会館
- 参 加 者 新規 JET プログラム参加者等



当事務所のプレゼンの様子

《パリ事務所》

ひょうごトルコ友愛基金理事会に理事として出席した。同基金は、トルコ北西部で 1999（H11）年に発生したマルマラ海地震に対する兵庫県義援金を基に基金運用を行い、トルコ国内で防災事業を展開している。2025（R7）年は、初めて本県とトルコの高校生の相互訪問および防災に係る交流事業が実施され、同理事会のなかで報告された。

また、同基金副理事長の同行のもと中東工科大学を訪問し、耐震工学・地域防災の専門家や奨学金を受給している大学生と面談した。専門家から 2023（R5）年のトルコ地震の被害状況や地震の特徴について説明を受けるとともに、学生からは奨学金により災害に強いまちづくりについて学ぶことができているという話があった。この奨学金は、兵庫県義援金により実施されている事業であり、同事業がトルコ学生に学ぶ機会を提供し、日本との結びつきを強化していることを確認することができた。

＜トルコ関係機関への訪問＞

- 日 程 2026（R8）年6月9日（火）～10日（水）
- 場 所 土日基金文化センター、中東工科大学（アンカラ市内）
- 参 加 者 ひょうごトルコ友愛基金：理事長、副理事長 ほか
中東工科大学：大学関係者 5 名 ほか

ひょうごトルコ友愛基金
理事会の様子

《香港経済交流事務所》

香港の大規模旅行博である香港国際旅遊展（ITE）に兵庫県ブースを出展した。今回は、淡路島の観光をPRするため県内企業も出展したことから、ITE事務局と調整し、兵庫県ブースと隣接する位置に、配置することができた。

兵庫県ブースでは、ひょうごフィールドパビリオンの紹介のほか、県内市町の多彩なパンフレットを配布しながら、来場者への説明、PRを行った。

5月末から活動を開始した大学生インターン5名も来場者に対し、自身の兵庫への訪問経験や勉強した知識を活かし、兵庫のPRを熱心に行った。

また、ブース来場者に対し、スマートフォンでアンケートを実施し774名から回答が得られた。

①訪日経験があるのは93.0%で、うち56.8%は5回以上の訪日経験があった。②兵庫県に対する認識としては、神戸ビーフやスイーツなどの食が42.0%、温泉が21.1%、姫路城が15.4%であった。

今後とも関係機関と連携し、兵庫の観光PRに努めていく。

<香港国際旅游展（ITE）へのブース出展>

○日 程 2026（R8）年6月11日（木）～14日（日）

○場 所 香港会議展覽中心

○出展数 69か国・地域、602社・団体

○来場者 82,612人（業界：8,442人、一般：74,170人）

（兵庫県ブース約3,000人）



多くの来場者で賑わう兵庫県ブース